



よこどっ子

千葉市立横戸小学校
〒262-0001
千葉市花見川区横戸町 1005
TEL043-259-5588
学校だより第9号
令和8年1月29日(木)



よりよい学校づくりに子どもの意見を生かして

校長

子どもたちは寒さをものともせず、元気に体を動かしています。先週、地域の3つの小学校が集まり球技大会がありました。小規模校の本校では6年生だけでなく5年生も選手として参加しますが、サッカーが準優勝、バスケットボールが優勝と、力を出し切ることができました。保護者の皆様の応援、ご協力、ありがとうございました。

女子のバスケットボールでは、普段から競技をやっている人もそうでない人も、それぞれが、チームのために自分にできることを考え、仲間を信じて動く姿に、他のチームから「本当に同じ小学生かしら、宇宙人かも」という声があがったそうです。

男子のサッカーでは、チャンスはあってもなかなか得点につながらない中、あきらめずに全力を尽くした結果、ミラクルシュートが決まりました。それは、サッカー好きには記憶に残る「ラモスの伝説のループシュート」を彷彿とさせるものだったそうです。

その裏には、こんな経緯がありました。練習では、監督、コーチである先生が、それぞれのポジションをホワイトボードに示し、動きを覚えていきました。当日も各メンバーのコンディションを見ながら、監督、コーチがポジションを考えましたが、それに対して「自分はここのポジションにつきたい」と主張した6年生がいたそうです。一瞬迷ったコーチも、「よし、それでやってみよう！」とその意見を取り入れ勝負したところ、そのミラクルシュートにつながったそうです。練習を通してただ技術を磨くだけでなく、自ら考えて動く力が育っていたこと、また、先生の指示を聞きながらも、自分の意見を言える、子どもと監督のよい関係が築けていたことを、うれしく思いました。

4月に「千葉市子ども・若者基本条例」が施行されました。「安心して生きる」「自分らしく心豊かに育つ」「自分を守り、守られる」「自分に関することを自分で決める」「社会に参画する」という五つの権利が明記されています。それを踏まえ、本校でもよりよい学校づくりのために「子どもの意見を生かす取組」を進めています。毎年取り組んできた「あいさつ運動」も、実施するかどうかから歯車委員が話し合い、「あいさつ運動会」と名称を変え、あいさつの大切さを伝える動画を作成したり、集会を実施したり、工夫した取組を行いました。先日、多くの学校を訪問されている方が、「この学校のあいさつは素晴らしいですね」と感心していましたが、子どもの主体的な取組の成果だと感じています。各クラスでも、自分たちの意見を生かす機会を増やしています。年末には1年生も、自分たちのクリスマス会の内容を、意見を出し合いながら決め、楽しんでいました。「よこどふれんずに名前をつけよう」という企画も子どものアイディアです。横小まつりでのベルマーク交換品の投票は、学校の取組に賛同したPTAが工夫してくださった、子どもの意見を生かす素敵な企画でした。

これからも、子どもが自分の意見をよりよい学校づくりに生かす経験を重ね、よりよい社会の担い手となるよう、取組を進めていきたいと思っています。